

夢米棚田新聞

ユ メ

作成/H26年 5月30日

総括リーダー：高橋義樹

副リーダー：桧垣龍之介

私たち別府大学夢米棚田チームは、今年の第一回目の活動となる5月25日、大分農業文化公園にて七島藺の株分け・苗植え、もち米・緑米・香米のもみ播き（種から苗にさせる準備）を行いました。（今活動参加学生・教員人数49名）



←株分けする学生らと、それを撮影するカメラマンとの一枚。その日、クルーが撮影した活動風景がNHK大分で放映されました。



こちらは、七島藺の田植えのシーン。一人ずつ10本の株を持ち、指定の間隔で植えました。→素足で感じる田んぼの泥が気持ちよかったです!!



参加学生の声

- ・とても面白かった!!
 - ・次回も参加したい!!
 - ・ちょっと大変だった…
- だけどいい体験でした。



皆さん、ご満悦♪



←経験された先輩方や公園職員の方からの指導のもと、無事もみ播きが完了。あとは、シートを被せて発芽を数週間待つだけです。

品種によって、もみの色に個性があります。もち米は黄色、緑米は黒色、香米はやや赤色機会があれば、ぜひ調べてみてください。



世界農業遺産に認定された国東半島・宇佐地域でのみ栽培される七島藺の苗が植えられるということで、多くの新聞記者やTVスタッフが取材のため、活動場所である大分農業文化公園を訪れました。取材を受けることで、改めて大変注目されていると実感しました。

～次回～

棚田活動の醍醐味!! 田植え(6月15日)を行います。人数が多いほど、楽しいですよ! 気になる人、興味のある人は、各学科のリーダーまたは先生にお尋ねください。新メンバーの参加をお待ちしています!